

# 議案の審議

12月定例会では、18年度の補正予算を始めとする22議案のほか、同意1件、報告2件が提出され、また、議員発議の意見1件がありました。

12月定例会で審議した案件は、9ページにあります一覧表（数字は議案番号）のとおりです。

## 討論

### ■本会議における主な討論

中日と最終日（12月11・18日）の本会議において、第102・109・117・123号議案の4件について反対・賛成の立場で各討論が行われました。

### \*\*\*⑩議案\*\*\*

**（反対）** 75歳以上の高齢者の負担が増大し、生活を苦しめると

考えられる後期高齢者医療制度そのものに反対であり、その制度を準備する負担金の補正予算への計上に反対する。

**（賛成）** 将来負担を軽減するという将来を見越したまちづくり振興基金積立金の減額や、高齢者への医療給付を安定かつ合理的に運営する事業のための後期高齢者医療広域連合設立準備委員会負担金など、既に予算化されている事業を見直し、真に重要かつ緊急性の高い事業が選択されていると理解しており、賛成する。

### \*\*\*⑪議案\*\*\*

**（反対）** 今回の改定は、行政改革等の流れの中、近代会計法の原則を規制緩和し、一般行政職に会計事務を行わせるものである。このことは会計事務の執行権限の独自性が保障されていた、特別職の収入役とは異なり、チェック機能を弱める方向に向うことは間違いなく、反対する。

**（賛成）** 本条例の制定は、地方自治法の改正に伴うものであり、本市も地方自治法改正の趣旨に従い、自治体としての自主性や自立性の拡大を図り、自らの判断で適正な管理体制を構築することは当然のことと判断し、賛成する。

### \*\*\*⑫議案\*\*\*

**（反対）** 愛知県後期高齢者医療広域連合は、平成20年4月から発足する後期高齢者医療制度に伴い設置されるものである。しかし、この制度は住民税増税、介護保険料値上げなどで、重い負担を強いている高齢者に、一層の負担をもたらし、かつ医療から遠ざけることになる制度で、見過ごすことができないものであり、反対する。

**（賛成）** 平成20年度から県内の75歳以上の高齢者を、県内すべての市町村が加入する広域連合で、医療給付を行うものである。この広域連合が一本化して経理することで、現在の市町村ごとに運営されている老人保健制度と比較し、安定的かつ合理的な運営が可能となり、また、国民皆保険制度を堅持し、将来にわたり持続できる医療制度になるものと判断し、賛成する。

### ■委員会の状況

各委員会とも多くの質疑がありました。

### 総務委員会

第109号議案豊川市特別職の職員で非常勤のもの報酬額及び費用弁償額並びにその支給に関する条例の一部改正と第110号議案豊川市職員退職手当支給

条例の一部改正の2件が付託され、審査が行われました。  
委員会での審査結果は、2議案とも委員全員異議なく、原案のとおり可決。

### 健康福祉委員会

第112号議案豊川市障害者入浴施設条例の一部改正、第113号議案豊川市健康福祉センター条例の一部改正、第119号議案豊川市障害者入浴施設及び豊川市福祉センターに係る指定管理者の指定、第123号議案愛知県後期高齢者医療広域連合の設置の4件が付託され、審査が行われました。

### 生活文教委員会

第122号議案豊川市宝飯衛生組合規約の変更の1件が付託され、審査が行われました。  
委員会での審査結果は、委員全員異議なく、原案のとおり可決。

### 議員発議による意見書の提出

森林と環境を守るための財源確保を求める意見書

近年、森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心、期待は大きくなってきている。

また、地球温暖化防止にかかる京都議定書目標達成計画では、我が国に課せられたCO<sub>2</sub>削減目標6%のうち、3.8%を森林の吸収により確保することが期待されているところである。

しかしながら、これまで森林を守り育ててきた林業は、木材価格の低迷や後継者不足など、林業関係者のみでは森林の保育・管理を行っていくことが極めて困難な状況となり、必要な手入れをされることなく放置される森林が急増している。

そのため、森林と共に暮らし、森林を熟知する行政としての市町村が立ち上がらなければならないが、森林のもつ公益的機能を守っていくべき山村地域の市町村は、過疎化、少子高齢化に悩み、加えて今日の危機的な財政状況から、今後とも継続的にこれらの役割を担うのは困難である。

このような状況において、将来にわたって国民の貴重な財産としての森林を維持していくためには、山村地域の住民や自治体のみならず、都市部や海辺の地域の住民や自治体も一緒になって「森林・山村を育て、水や空気を守っていく」という国民的な認識と森林を次世代へ引き継いでいくという気運を高めていくことが重要である。

については、森林のもつ公益的機能に鑑み、森林を有する山村地域の市町村が、森林の維持、育成のための財源を確保できるようにすることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣あて

## 議決状況の一覧

### 12月定例会

○賛成・×反対

信政—信政会 新風—新風会 豊清—豊清会 公明—公明党市議団 共産—日本共産党豊川市議団 市民—市民フォーラム豊川

議案名	議決結果	会派別賛否状況					
		信政	新風	豊清	公明	共産	市民
⑩ 18年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	×	○
⑩ 18年度豊川駅東土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 18年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 18年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 18年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 18年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 18年度在宅介護支援事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 特別職の職員で非常勤のものの報酬額及び費用弁償額並びにその支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑩ 職員退職手当支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑪ 児童遊園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑫ 障害者入浴施設条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑬ 健康福祉センター条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑭ 道路占用料等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑮ 消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑯ 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○
⑰ 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	×	○
⑱ 児童遊園に係る指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○
⑲ 障害者入浴施設及び福祉センターに係る指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○
⑳ 市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○
㉑ 市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○
㉒ 豊川宝飯衛生組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○
㉓ 愛知県後期高齢者医療広域連合の設置	可決	○	○	○	○	×	○
同意6 教育委員会の委員の任命同意	同意	○	○	○	○	○	○
報告14 手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○
報告15 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○
意見4 森林と環境を守るための財源確保を求める意見書の発議	可決	○	○	○	○	○	○